

鹿児島大学（桜ヶ丘）医歯学総合研究棟2改修設計業務

設計概要書

平成30年1月

鹿児島大学

1. 計画概要

本業務は、鹿児島大学桜ヶ丘キャンパス敷地内にある医歯学総合研究科棟2の改修設計業務である。

建物概要：医歯学総合研究科棟2

(鉄骨鉄筋コンクリート造 地上8階建 延べ面積約8,663㎡)

※Ⅰ期工事対象範囲(改修面積2,320㎡)の実施設計及び、全体計画範囲の基本計画及び耐震補強計画

設置場所：鹿児島市桜ヶ丘8丁目35番1号(鹿児島大学構内)

2. 設計概要

§ 1. 建築設計概要

1) 計画概要

- ・本建物は経年43年で耐震化が低いため耐震補強を行い、プロジェクトスペース、多目的交流スペース等の確保を行う。
- ・室環境の機能強化を行い、工事費、維持管理費の経済性及び省エネルギー・メンテナンス等に配慮した設計とすること。
- ・「環境物品等の調達の推進を図るための方針(鹿児島大学策定)」に基づく資材建設機器等の調達を積極的に設計に取り入れること。
- ・二酸化炭素排出量削減に配慮した設計とし、設備設計が行う省エネルギー関係計算書の作成に情報提供等の協力を行うこと。

2) 仕上げ等に関する考え方

- ・内装材等は、衛生的で耐久性がありメンテナンスが容易な仕様とする。
- ・コスト削減を考慮した設計とする。
- ・環境負荷の小さい建材等の採用等、資源の有効活用を図る。

3) その他

- ・改修後の耐震診断および耐震補強の実施。
- ・建物周囲の外構計画
- ・工事期間中の隣接する建物への影響や学生・教職員への安全等に配慮した仮設計画

施設の現状

- ・耐震性の不足 (Is0.69) 老朽化 (経年 43 年)
- ・省エネ性能貧弱
- ・スペースの固定化・狭隘化
- ・ホルマリン処理不全による劣悪な教育研究環境



天井スラブ落下事故発生 危険性大

活動内容・実績

<教育>

地域の特性や先端性を生かした基礎医学教育の中心的役割

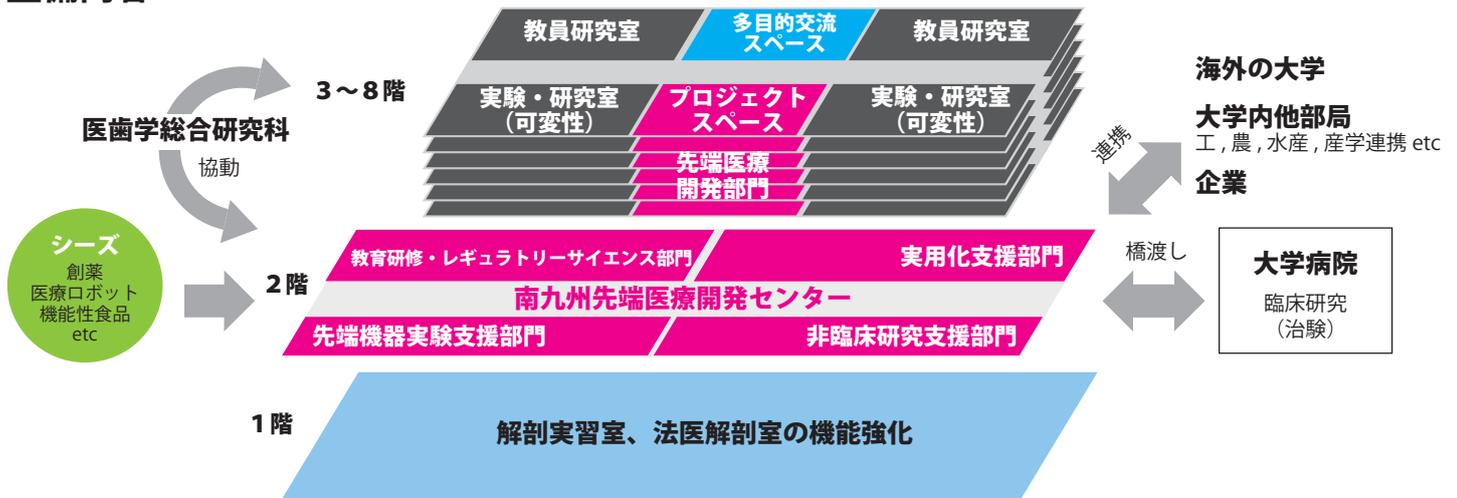
<研究> H26 ~ H28 年度実績

- 科学研究費補助金
- 受託・共同研究
- 大型プロジェクト
 - ～厚生労働省～
 - ・第3次対がん総合戦略
 - ・がん対策推進総合研究事業
 - ～文部科学省～
 - ・橋渡し研究加速ネットワークプログラム
 - ～国立研究開発法人日本医療研究開発機構 (AMED) ～
 - ・革新的がん医療実用化研究事業
 - ・橋渡し研究加速ネットワークプログラム (シーズC)

<地域貢献>

鹿児島県修学資金貸与制度に基づく地域枠医学生を初めとした地域医療人育成
鹿児島県全域からの法医解剖の依頼、検視・検案に対応

整備内容



- ・先端医療の研究の開発から実用化までの橋渡しの拠点「南九州先端医療開発センター」(H29 設置予定) の整備
- ・プロジェクトスペース、多目的交流スペースを整備し、先端医療の研究開発・異分野交流を加速
- ・地域の医療・教育に貢献する解剖実習室、法医解剖室の機能強化

教育研究・機能強化への効果

がん治療薬等の先端医療の開発から実用化までの拠点を構築



中期目標期間重点的戦略

- ・強み特色のある国際水準の卓越した研究及び南九州固有の地域的課題研究の推進
- ・カロリンスカ研究所 (ノーベル賞選定機関)、ハーバード大学等の最先端の機関とのさらなる人的交流・共同研究の推進
- ・世界最高水準の医療創出とそれによる産業創出